

大阪大学図書館報

Vol. 20, No.1 May 1986

目 次

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| ○新入生を迎えて | ○教官著作寄贈図書 |
| ○BIOSISデータベース・サービスの案内 | ○会 議 |
| ○昭和61年度BIOSIS利用者モニターの募集について | ○日 程 |
| ○吹田分館増築、認められる | ○人 事 |
| ○図書管理・発注処理システム、いよいよスタート | |

新入生を迎えて

後 藤 稠

皆さん、入学おめでとう。皆さんの入学を祝って図書館、あるいは、大学図書館の歴史の話を致したい。

何事に限らず一つの問題に取り組むとき、まず、そのことの歴史的な背景に立って現在を把らえ、未来を考えなければいけない。図書館のはじまりは、人類文化の発祥につながる。メソポタミア・バビロニアの古都ニップールの寺院跡に楔方文字を刻みこんだ粘土板 2,000枚以上が、ペンシルバニア大学探検隊によって発見された(1885~1900年)。これは、前3000年のころの神殿図書館の遺跡と推測されている。下ってアッシリアの古都ニネヴェにも同様の図書館(前7世紀)と覚しきものが発見されている。前4~3世紀にかけてプトレマイオス1世、2世が精力的に作ったアレキサンドリア図書館は有名で、最盛期の蔵書数、およそ70万といわれている。問題はこれら古代文代のその後の発展あるいは消滅の文化史的な姿にあると思う。

話を一足飛んで中世から近世にかけての大学図書館に移そう。大学図書館の最古のものは、スペインのサマランカ大学のもの(1243年)といわれているが、それより10年程遅れて発足したパリ大学のものが有名である。司祭ソルボンが寄贈した文庫(1257年)を中心にしてパリ大学は発展し、今日に至っている。オックスフォードに図書館が生まれたのは、14世紀である。これもトマス・ボドレイの個人文庫がそのはじまりで、ボドレーアン図書館と呼ばれている。ハーバード大学も宣教師ジョン・ハーバード遺贈の260冊からスタートしている。

さて、このころのわが国における図書館あるいは図書館を中心とした広い意味での大学はどのような状態であったか。私は図書館長に就任したのを機縁に、この辺りのことを少し勉

強して驚いた。まず、わが国の8世紀の古文書約12,000点が、現在まで保存されているという驚嘆すべき事実を知った。その大部分は、正倉院宝庫にあった。現存のものとしてのこの数量は世界にその比を見ない。中世にはいって、パリ大学に先立つこと半世紀、北条実時がはじめた金沢文庫の書籍は万卷を越えたと推定されている。また、これが当時の学者間に広く利用されていたという根拠がある。ソルボンヌ大学が1000冊弱の図書館ではじまったことを思えば、当時のわれわれの祖先の知識欲、知的水準の高さは大変なものだったと言えよう。

さらに下って江戸期に至ると、幕府の紅葉山文庫、当時の官学である昌平黉すなわち昌平坂学問所文庫などが挙げられよう。これは、今日の国立大学附属図書館に匹敵する規模であった。一方、堀保己一の和學講談所は、昌平黉の儒学に対して国学への配慮から誕生した。保己一先生の生涯の大事業である群書類従はわが国の古書を集輯・合刻（ごうこく）した叢書で、正編530巻目録1巻667冊、続編1000巻1,185冊、1779年から漸次刊行、1819年正編完了、1822年続編が完了している。別名温故堂文庫には学生が多く集まり、今日の大学国文科付設専門図書館の観があった。

わが国の啓蒙期のはじまりを1857年（安政4年）に開設された幕府の洋学研究所もしくは学校である蕃書調所とする人がある。このあたりからわが国の文化史に一つの不連続が生じるように一見みえるが、私は、19世紀半ば以降のわが国現代文化を育ててきたものは、わが国古代以来のわが国の文化史であると考えたい。

江戸盛期に、江戸だけで600以上あったという貸本屋は、当時の庶民の教育機関であり、情報流通機構であった。寺小屋も江戸を通じて記録に留まっているものだけで15,000校を下らない。それとは別に、300の藩校があった。18世紀末～19世紀初めのわが国の普通教育の水準は、既にヨーロッパのどの国にもおとらないものであったといえよう。当今のわが国民生活全般に、なお西洋文化・文明と日本のそれとのちぐはぐな組合せや混乱が多く見受けられるが、それだけ、古代以来のわが国文化史の慣性が大きく強いといえるのではないか。

大阪大学の源は、文科系は懐徳堂、理科系は適塾とされている。何れも江戸期大阪町人の力で生まれ、育まれたものである。時の権力に媚びることなく町人の手でなされた文化事業であるという点にその大阪的特色——ひいては大阪大学の特色を認めたい。

最後に、「民族の未来は、過去の歴史の中にある」という岡倉天心の言葉をあげて私の話を結ぶことにする。

（入学宣誓式館長挨拶から）

（附属図書館長・医学部 教授）

BIOSISデータベース・サービスの案内

大阪大学大型計算機センターでは、生物関連分野の文献を大多数網羅したデータベース BIOSISのサービスを開始しています。

BIOSISは米国フィラデルフィアにある Bioscience Information Service の略称であり、1926年に創立された機関である。BIOSIS より提供されるファイルには生命科学の全領域にわたる文献ファイルがあり、収録資料により2つの部分ファイル、BA, BA/RRMがある。BAは、100カ国以上で出版されている。9,000種の学術雑誌をカバーしている原者論文や、学位論文で、収録文献は年間およそ20万件である。一方、BA/RRMは、単行本、技術レポート、会議資料と抄録、文献レビュー、文献リスト、単報といった出版物で年間およそ16万件収録される。発行頻度は、BIOSIS Previews の磁気テープにより、BA, BA/RRMとも月2回で、年間では両方合わせて48回発行される。

BIOSIS ファイルの対象分野は、生命科学の全領域をカバーし、生物学や生体臨床医学における実験報告、野外調査報告、臨床的および理論的研究に関する報告および文献を収録しており、

- 1) 伝統的生物学分野 動物学、植物学、微生物学など
- 2) 関連分野 動物植物科学、農学、薬学、生態学など
- 3) 学際的分野 生物化学、生物物理学、生物工程など
- 4) 方法論や装置分野 診断・処置・装置の手法など
- 5) 環境問題分野 環境変化に対する分散・影響の予測など
- 6) 生命科学の歴史および哲学・生命科学情報の管理と検索などが対象分野となる。

収録文献の発行地域分布は、

ヨーロッパ・中東	50%	中南米	6%
北米	25%	アフリカ	4%
アジア・オーストラリア15% (日本 8%)			

なお、大阪大学大型計算機センターには、1985年度版より収録しております。また、アストラクトは含まれません (1982~84年までのバックナンバーを'86年7月頃予定しています)。

BIOSIS のサービスの受け方は、大阪大学大型計算機センター利用登録されている方であれば誰でも可能です。また、登録をされてない方は、図書館を通じてサービスを受けることができます。TSSシステムにより、次のようにメッセージを入れればシステムの問い合わせに答える形で情報を得ることができます。

SYSTEM? BSAUTO.....BIOSIS-AUTO システムの呼びだし

以下、システムの問い合わせに答えていけばよい (次頁以降の例を参照)。(NEC提供のデータベース・システム D710をよく御存じの方は、次の呼びだしでもよい。

SYSTEM? BIOSIS.....BIOSISシステムの呼びだし)

詳細については、大型計算機センター研究開発部、多喜正城 (内線 2837) まで連絡してください。利用申請については、同センター共同利用掛 (内線2817) へ問合わせてください。

○ 実行例で、下線は端末からの入力を示す。

```

SYSTEM?BSAUTO          ----- BIOSIS データベース・システムの呼びだし
*****
* WELCOME TO BIOSIS *
*****

*****
* CAUTION !! FOR AN INFRINGENT OF COPYRIGHT *
* NEVER OUTPUT TO FLOPPYDISK OR DISK-FILE ETC.! *
*****
WAIT A MINUTE

CHOOSE THE RECORDSET NAMES WITH THE NUMBERS (RETURN-KEY TO EXIT).
NO RECORDSET NAME      COMMENT
#01 BA85                BA (1985. VOL79 & VOL80)      : 220008REC
#02 RRM85               BA/RRM(1985. VOL28 & VOL29)    : 220004REC
#03 BA86                BA (1986. VOL81#1-5)          : 29376REC
#04 RRM86               BA/RRM(1986. VOL30#1-5)       : 21084REC
#05 BACURR              BA (1986. VOL81#5)           : 9792REC
#06 RRMCURR             BA/RRM(1986. VOL30#5)       : 10122REC
RECORDSET NAME? 3      ----- レコードセットの選択
RECORDSET NAME? 4
RECORDSET NAME? ←     ----- Return-key 入力によりレコードセットの選択終了

STARTING OF RETRIEVE PROCEDURE.

BROWSE, SEARCH OR END ? <B/S/E>
B                      ----- BROWSE (通覧) の指定 ( KEYWORD による通覧)
ENTER ITEM NAME ---> AUTHOR(AU), ORGANIZATION(OG), ---- 通覧すべき ITEM (項目) と、その一覧
TITLE(T1), PUBLICATION(S2), CONCEPT CODE(CC),
BIOSYSTEMATIC CODE(BC) OR ALL OF ITEMS(RETURN-KEY)
←                      ----- すべての ITEM についての情報を得る。

ENTER THE KEYWORD WHICH YOU BROWSE.
NEVER SKIP !!
=> IANAKA              ---- 通覧すべきキーワードの値を入力する。

NO. RECORD KEYWORD (ITEM=SOU2) ---- アイテム名 SOU2(=SOURCE : JOURNAL や BOOK等)
#001 17 TAIPEI          以下、アイテム名を示しておく。
#002 3 TAI              LANG(=LANGUAGE : 原文の言語 )
                        AUTH(=AUTHOR : 原著者名 )
                        TITL(=TITLE : 標題名 )
                        ADWD(=ADWORD : 附加語 )
                        ORGA(=ORGANIZATION : 著者の所属機関 )

#076 1 TANAT
#077 1 TANDHEELKUNDE
#078 1 TANDOGAN
#079 1 TANDOJAM

BROWSE, SEARCH, DISPLAY, END OR NEXT? <B/S/D/E/N>
S                      ----- SEARCH (検索) の開始
DO YOU KNOW HOW TO SEARCH?
YES OR NO? <Y/N>      ----- 検索の仕方がわからない場合 NO を入れれば以下に例示してくれる。
N

```

NOW, LET'S SEARCH ! ----- 検索の例示

AFTER ' INQUIRY? ', ENTER THE KEYWORD WHICH YOU WANT TO SEARCH
FOR AUTHOR(AU), ORGANIZATION(OG), TITLE(TI), PUBLICATION(S2) OR YEAR(YR) ETC.

```
*** FOR EXAMPLE ***
* INQUIRY? AU = "KAWAI N" AND OG ADJ OSAKA$:UNIV$
* #01 12 RECORDS
* INQUIRY? T1 = HORMON$
* #02 356 RECORDS
* INQUIRY? #1 AND #2
* #03 2 RECORDS
* INQUIRY? <--- -- ENTER RETURN-KEY
*** IF YOU DON'T WANT ' INQUIRY? ', HIT RETURN-KEY.
*** END OF EXAMPLE ***
```

```
INQUIRY? AU = TANAKA$ ----- 著者がタナカで始まる者 ( $ は前方一致を示す)
#01 161 RECORDS ----- 出力結果 161 件あり
INQUIRY? OG = OSAKA$ ----- 所属がオオサカ
#02 306 RECORDS
INQUIRY? OG = UNIV$
#03 4300 RECORDS
INQUIRY? #2 AND #3 ----- 検索結果 #2 と #3 を同時に満たすもの
#04 31 RECORDS
INQUIRY? #1 AND #4
#05 1 RECORDS
INQUIRY?← ----- 検索の打ち止め (Return-key)
```

BROWSE, SEARCH, DISPLAY, END OR N(EXT)? <B/S/D/E/N>

D

DISPLAY -- FORMAT IN BIOSIS OR HANDAI FORM OR DON'T DISPLAY? <B/H/D>

B

----- BIOSIS 提供型式で表示する。

CHOOSE ONE OF THE ABOVE ANSWER NUMBERS WHICH APPEARED

IN THE HEADING OF THE FORM '#NN 11 RECORDS' AT THE ANSWER OF 'INQUIRY? '

ANSWER NUMBER? 5 ----- 何番目の検索結果を表示するのか? ここでは #5

DISPLAY STARTING POINT?← ----- 表示開始は何件目から何件表示するのか?

DISPLAY COUNT?← Return-keyは、始めから全部を表示する。

----- 以下、BIOSIS での出力結果

```
#05 1 RECORDS
1/1
BN=30009363 CD=KDYIA VL=28 IS=2 YR= 1985
PG=362 S1=12TH CONGRESS OF THE EUROPEAN DIALYSIS A
S2=12TH CONGRESS OF THE EUROPEAN DIALYSIS AND TRANSPLANT ASSOCIATION-EUROPEAN
RENAL ASSOCIATION, BRUSSELS, BELGIUM, JUNE 25-29, 1985. KIDNEY INT
LG=EN
AU=YAMAGAMI S/NIWA M/KISHIMOTO T/UMEDA M/TANAKA S/IWANAGA S/
TI=ANALYSIS OF A LIMULUS POSITIVE SUBSTANCE IN THE CUPROPHANE MEMBRANE
AW=ABSTRACT RABBIT CUPROPHANE CUPROAMMONIUM POLYMETHYLMETHACRYLATE ENDOTOXIN P
YROGEN TEST
OG=OSAKA CITY UNIVERSITY MED. SCHOOL.
CC=00520 10060 10066 10068 10508- 15001- 22501*
23007- 31000 36002- 64060
BC=86040
```

DISPLAY -- FORMAT IN BIOSIS OR HANDAI FORM OR DON'T DISPLAY? <B/H/D>
 H ----- センター提供のプログラムにより出力結果を見易く編集して出力する。
 CHOOSE ONE OF THE ABOVE ANSWER NUMBERS WHICH APPEARED
 IN THE HEADING OF THE FORM '#NN I RECORDS' AT THE ANSWER OF 'INQUIRY? '
 ANSWER NUMBER? 5 ----- 検索結果のシステムからの返答番号 #5
 ==> 注;このプログラムでは、その検索番目の表示にあった件数を出力する。例えば、#4では、31件分が出力される。
 WAITE A MINUTE

----- 以下、HANDAI FORM での出力結果

PRINT NO. 1
 BIOSIS_NO.30009363 CODE=KDZIA LANGUAGE / EN
 AUTH : YAMAGAMI S/NIWA M/KISHIMOTO T/UMEDA M/TANAKA S/IWANAGA S/
 ORGA : OSAKA CITY UNIVERSITY MED. SCHOOL.
 TITL : ANALYSIS OF A LIMULUS POSITIVE SUBSTANCE IN THE CUPROPHANE M
 EMBRANE
 PUBL : 12TH CONGRESS OF THE EUROPEAN DIALYSIS AND TRANSPLANT ASSOCI
 ATION-EUROPEAN RENAL ASSOCIATION, BRUSSELS, BELGIUM, JUNE 25
 -29, 1985. KIDNEY INT
 VOL.28 ,NO.2 PP.362 ,1985
 ADWD : ABSTRACT RABBIT CUPROPHANE CUPROAMMONIUM POLYMETHYLMETHACRYL
 ATE ENDOTOXIN PYROGEN TEST

DO YOU WANT TO PRINT OUT CC-NUMBER AND BC-NUMBER ?
 YES OR NO? <Y/N> ----- CC,BCが要るか?
 N

DISPLAY -- FORMAT IN BIOSIS OR HANDAI FORM OR DON'T DISPLAY? <B/H/D>
 D ----- DISPLAY の打ち切り

BROWSE, SEARCH, DISPLAY, END OR NEXT? <B/S/D/E/N>
 E ----- 現在のレコードセット(#03、#04)を終わる

CONTINUE UNDER SAME RECORDSET OR ANOTHER OR FINISH? <S/A/F>
 E ----- BSAUTO を終わる。
 END OF BIOSIS ----- BIOSIS の終了メッセージ
 SYSTEM?

吹田分館増築認められる

吹田分館は、昭和45年10月に吹田地区工学系図書館として開館して以来、約16年を経過した。この間、研究・教育の発展にともない研究施設が増設され、利用者および蔵書数が増加した結果、閲覧座席、書庫の収容力等の施設面において狭隘となり、また、情報提供サービスを行う図書館機能面についてもいっそう充実が望まれるようになってきた。したがって、工学部図書委員会、吹田地区運営委員会で検討を重ね、収蔵能力の拡大および研究図書館機能の拡充を図るため、昭和60年度と昭和61年度の2年にわたり、増築の概算要求書を提出した結果、工学系図書組織の体系化を前提に、昭和60年度末に、学内・文部省関係者のご努力により、増築が認められた。工期は、昭和61年4月着工、11月中旬竣工の予定である。

増築建物は、既設建物の東側、丘陵部の土地を切土した場所に鉄筋コンクリート造3階建延面積2,423㎡(含本部設備面積)、フロア面積約750㎡、既設建物とは、約10mの渡り廊下で、1階と2階部分で接続している。既設部分には、主として学習用図書を配架し、増築部分は、研究閲覧棟として、1階に新着學術雑誌、最近10年以内の製本雑誌、抄録・索引誌等の二次資料を配架する。2階、電動集密書架には、10年以上経過した製本雑誌、3階、電動集密書架には、研究用図書を配架する予定である。新しい研究情報については1階部分で入手できるよう考慮されており、増築部分の収蔵可能冊数は約32万冊である。閲覧環境を良好で、落ち着いたある雰囲気とするため、各フロアはカーペット敷とするが、室内環境をいっそう調えるため、学内・外関係者の美術・工芸作品の展示等について、ご協力をお願いしたい。

昭和61年度BIOSIS利用者モニターの募集について

昭和61年度のBIOSIS利用者モニターを下記の要領で募集しています。BIOSIS 利用者モニターとして御協力いただける方は、是非応募くださるようお願いいたします。

記

資格：本センターの利用有資格者

期間：昭和61年4月～昭和62年3月

内容：(1) 検索コマンドの使い易さに関する事項
(2) 検索キーワードの切り出し方
(3) その他、利用にかかる諸問題

について、定期的な会合等で御意見を出していただきます。

待遇：計算機利用経費の負担額の一定額免除

応募方法：応募用紙が大阪大学大型計算機センターにありますので必要事項を記入のうえ下記宛まで提出してください。

〒567 茨木市美穂ヶ丘5番1号(阪大吹田団地内)

大阪大学大型計算機センター共同利用掛

締切日：昭和61年6月30日

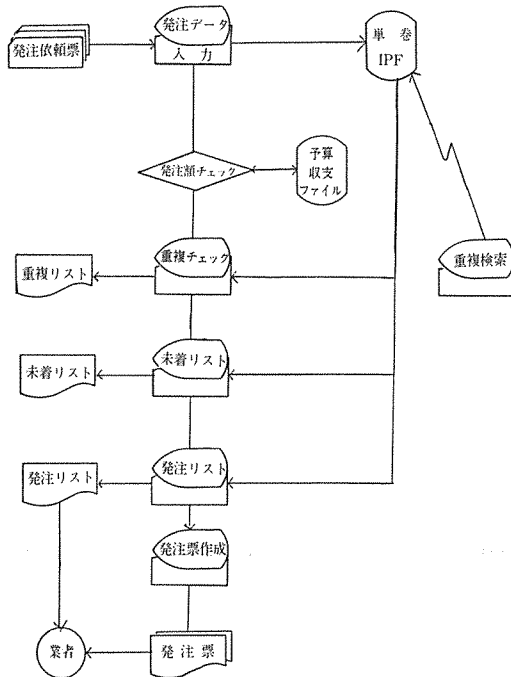
応募用紙の請求及び不明な点については、大阪大学大型計算機センター共同利用掛
(TEL 06-877-5111 内線 2817) までお問い合わせください。

図書管理、発注処理システムいよいよスタート！

昭和58年1月以降開発してきた図書管理システムのうちで、残されていた発注処理システムが、受入テストも終わり、昭和61年4月からいよいよ本稼動することになりました。

発注処理システムの概略フローは、図1のとおりです。

図1 発注処理システム概略フロー



このシステムの機能的特徴について以下簡単に述べます。

1. 発注した図書の発注額チェック

発注しようとする図書のデータを入力することによって、各々の予算コードごとに発注額が計上され、予算コード別に発注額が把握出来る。このことにより、年間図書予算の計画的執行が可能となる。なお予算額に対して発注額がオーバーすると困まる場合、発注額チェックをかけると発注リストが作成されない。

2. 発注した図書の重複調査

発注しようとする図書がすでに受入れられているかどうかを、簡単な書名キーと予算コードのかけ合せで検索し、類似本のリストを出力する。そのリストを見て重複しているかどうかを調べる。なおオンライン画面でも同様にして重複検索が出来るよう、現在開発中です。

3. 発注リストおよび発注票の作成

発注しようとする図書について、重複調査等の処理を行った後で、業者別の発注リストを作成する。また発注票を使用したい場合は、正・副一対の発注票を出力することも出来る。これらを基に業者に発注する。

4. 未着請求リスト

一定期間たっても納品されない図書について出力し、業者ごとの未着請求リストを作成する。これを基に業者に対して納品の督促を行う。

以上4点が主とした発注システムの機能です。

(本館 受入掛)

教官著作寄贈図書

——本館——

- 子安宣邦 (文・教授)
伊藤仁斎
(東京大学出版会 昭57)
- 子安宣邦 (文・教授)
宣長と篤胤の世界 2冊 (中公叢書)
(中央公論社 昭52)
- 林 毅 (法・教授)
西洋中世都市の自由と自治
(敬文堂 昭61)
- 久貴忠彦 (法・教授)
親族法・相続法100講
(学陽書房 昭61)
- 中村隆雄 (理・教授)
酵素のはなし
(学会出版センター 昭61)
- 丘本 正 (基・教授)
因子分析の基礎
(日科技連出版社 昭61)
- ^{あつし}
江川 温 (教・講師)
都市空間の解剖 (新評論 昭60)
- 理学部図書室——
中村隆雄 (理・教授)
酵素のはなし
(学会出版センター 昭61)

——中之島分館——

- 金子仁郎 (医・名誉教授)
老年の心理と精神医学
(金剛出版 昭60)
- 坂本幸哉 (医・教授)
Glucocorticoid Hormone
(Japan scientific societies press, '86)
- 岩田平太郎 (薬・教授)
薬物の用量——反応関係
(医歯薬出版 昭61)

——吹田分館——

- 紙野桂人 (工・教授)
都市の時代：京都・大阪・神戸からのアプローチ
(都市文化社 昭60)

——薬学部分館——

- 岩田平太郎 (薬・教授)
薬物の用量——反応関係
(医歯薬出版 昭61)

——産業科学研究所図書室——

- 清水謙一 (産・教授)
記憶と材料：入門形状記憶材料
(共立出版 昭61)

■■■■■■■■■■会 議■■■■■■■■■■

——附属図書館吹田地区運営委員会——

61. 2. 25(火) 16:30~17:30 (吹田分館会議室)

報告事項 1. 吹田分館の増築が認められ、3月中旬入札、4月着工予定との報告があった。2. 「吹田分館増築にかかわる調査」を実施中であり、調査への協力依頼があった。3. 財団法人軽金属奨学会および電気通信普及財団からの雑誌、図書費の寄贈について報告があった。

協議事項 1. 増築後における分館運営について協議があり、増員については工学部等に宜しく願うことになった。2. 昭和61年度基本参考図書の要求について、原案どおり了承された。

——豊中地区運営委員会——

61. 3. 10(月) 13:30~15:00 (本館会議室)

協議事項 1. 昭和61年度基本参考図書について。資料昭和61年度基本参考図書購入リストについて説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。2. 次期豊中地区運営委員会委員長の選出について。現委員長、文学部矢守一彦教授の任期満了に伴ない、委員会規程に基づき、法学部林毅教授が選出され、次期委員長に決定した。

——図書館委員会——

61. 3. 10(月) 15:00~17:00 (本館会議室)

報告事項 1. 吹田分館増築について 2. 附属図書館産学協同問題委員会の審議報告について、これについては、昭和61年3月10日現在、Avian Disease vol. 29他8件の受入状況について説明と報告があった。

協議事項 1. 昭和61年度図書館事業費予算要求書(案)について：資料に基づいて説明があり、原案どおり承認された。2. 昭和62年度図書館新規概算要求書(案)について：資料に基づいて説明があり、協議の結果承認された。

■■■■■■■■■■ 日 程 ■■■■■■■■■■

- | | | |
|-----------|------------------------------|----------------|
| 61. 1. 21 | 文献情報センターとの接続に関する説明・検討会 | (本館) |
| 61. 1. 21 | 日本医学図書館協会理事会・評議員会(60年度第3回) | (日本大学会館) |
| 61. 1. 29 | 図書館ネットワーク専門委員会 | (東京大学文献情報センター) |
| 61. 1. 31 | 生物系図書館ワーキング・グループ第6回会合 | (中之島分館) |
| 61. 2. 7 | 近畿地区医学図書館協議会第9回実務者会議 | (大阪医科大学) |
| 61. 2. 19 | 吹田地区運営委員会吹田分館増築小委員会 | (吹田分館) |
| 61. 2. 24 | 生物系図書館ワーキング・グループ第7回会合 | (中之島分館) |
| 61. 2. 25 | 吹田地区運営委員会 | (吹田分館) |
| 61. 2. 28 | 外国雑誌センター館会議 | (東京大学史料編纂所) |
| 61. 3. 3 | 分館長会議 | (本館) |
| 61. 3. 10 | 豊中地区運営委員会 | (本館) |
| 61. 3. 10 | 図書館委員会 | (本館) |
| 61. 4. 16 | 吹田地区運営委員会吹田分館増築小委員会 | (吹田分館) |
| 61. 4. 17 | 第38回近畿地区医学図書館協議会例会 | (神戸大学) |
| 61. 4. 18 | 近畿地区国立大学図書館協議会 | (京都大学) |
| 61. 4. 18 | 近畿地区区公立大学図書館協議会企画委員会(昭和60年度) | (京都大学) |

■■■■■■■■■■人 事■■■■■■■■■■

異動前の所属・職名	氏 名	異 動 内 容	発令年月日
		(採 用)	
吹田分館受入掛・事務補佐員	加藤 榮美	事務補佐員医学情報課受入掛	61. 2. 1
	森川 順子	〃 医学情報課運用掛	〃
	瀬尾実喜子	文部事務官基礎工学部	61. 3. 1
	村上 健治	〃 整理課洋書目録掛	61. 3. 16
	大石 早苗	事務補佐員整理課洋書目録掛	61. 4. 1
	南村 清之	〃 閲覧課参考掛	〃
	茶谷 公之	〃 閲覧課閲覧第一掛	〃
	西村 謙一	〃 〃	〃
	伊藤 伸介	〃 〃	〃
	伊黒 忠昭	〃 〃	〃
	小林 由佳	〃 吹田分館受入掛	〃
	平野 敬子	〃 〃 目録掛	〃
	濱田耕太郎	〃 〃 運用掛	〃
	石原 知	〃 〃	〃
	隅田 武男	〃 〃	〃
	天藤恭太郎	〃 〃	〃
	福田 隆	〃 〃	〃
	堀井 和弘	〃 〃	〃
	宇野 博志	〃 医学情報課運用掛	61. 5. 1
		(昇 任)	
医学情報課参考調査協力掛主任	塩見 橘子	国立民族学博物館情報管理施設 資料室文献図書係長	61. 4. 1
		(配置換)	
整理課受入掛・事務官	宮田 正徳	閲覧課閲覧第一掛	61. 4. 1
吹田会館目録掛長	泉 文雄	医学情報課受入掛長	〃
整理課洋書目録掛事務官	伊藤 彰	医学情報課受入掛	〃
医学情報課受入掛長	岩本 速雄	医学情報課参考調査協力掛長	〃
人間科学部事務官	名倉 愛子	医学情報課参考調査協力掛	〃
		(転 任)	
医学情報課参考調査協力掛長	藤川 俊三	千葉大学附属図書館亥鼻分館専 門職員	61. 3. 24
東京大学農学部事務官	山崎 隆史	整理課受入掛	61. 4. 1
国立民族学博物館情報管理施設 資料室文献図書係長	近藤 勝一	吹田分館目録掛長	〃

異動前の所属・職名	氏 名	異 動 内 容	発令年月日
閲覧課閲覧第一掛事務官	片山 俊治	(所属換) 閲覧課参考掛	61. 4. 1
閲覧課閲覧第三掛事務官	木村美重子	(退 職)	61. 3. 31
整理課洋書目録掛事務補佐員	鈴木ふぢ子		〃
閲覧課参考掛事務補佐員	高見 明宏		〃
閲覧課閲覧第一掛事務補佐員	山本 泰雄		〃
閲覧課閲覧第一掛事務補佐員	鳴本 勝浩		〃
閲覧課閲覧第一掛事務補佐員	新田 貴士		〃
閲覧課閲覧第一掛事務補佐員	飯田 俊幸		〃
医学情報課運用掛事務補佐員	小松 泰信		〃
吹田分館目録掛事務補佐員	下佐 葉子		〃